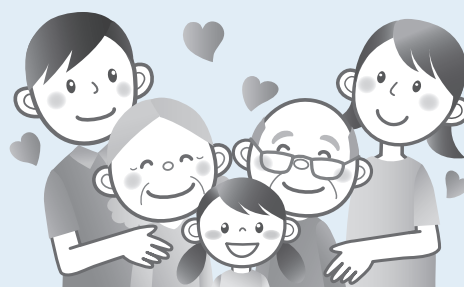


住み慣れた地域で
生き生きと暮らしていくために



より良い高齢化社会実現のため 「高齢者に関するアンケート」 結果公表

—皆さんと作る次期計画—
高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしができるよう、医療・介護・予防・住まい・生活支援が一体的に提供される「地域包括ケアシステム」の構築に向けて、取り組みを進めています。そこで平成27年度から始まる「旭市高齢者福祉計画・第6期介護保険事業計画」を策定するため、アンケートを実施したので主な結果を公表します。

調査の回答者数と回答率

調査対象	配布数 (人)	回答者数 (人)	回答率 (%)
一般高齢者 (65歳以上の人)	1,999	1,155	57.8
在宅介護サービス利用者 (要介護(要支援)認定者)	1,465	724	49.4
介護支援専門員	57	51	89.5

【アンケート実施時期】
平成26年1～2月
【アンケート結果の表し方】
質問の有効回答者数を基数とした百分率(%)で表しています。小数点以下第2位を四捨五入しているため、100%にならない場合があります。また複数回答形式の場合、100%を超えることがあります。

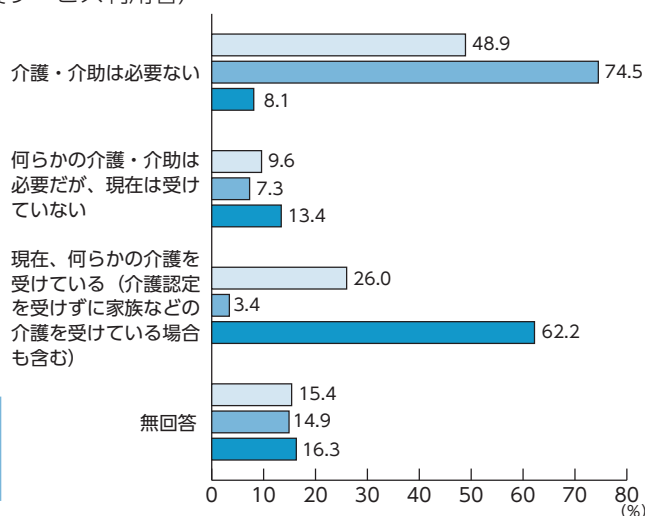
問 普段の生活で介護・介助が必要ですか。

(回答者：一般高齢者と在宅介護サービス利用者)

一般高齢者の7割の人が「介護・介助は必要ない」と回答しています。

在宅介護サービス利用者では6割の人が「現在、何らかの介護を受けている」と回答しています。

■ 全体
■ 一般高齢者
■ 在宅介護サービス利用者



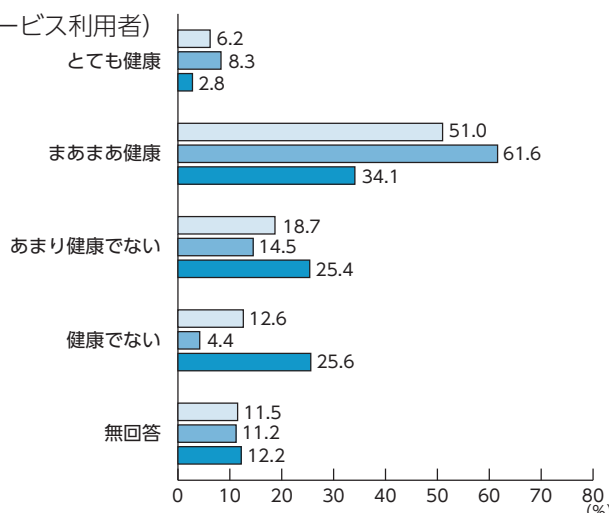
問 普段、ご自分で健康だと思いますか。

(回答者：一般高齢者と在宅介護サービス利用者)

一般高齢者の7割の人が「とても健康」「まあまあ健康」と回答しています。

在宅介護サービス利用者では5割の人が「あまり健康でない」「健康でない」と回答しています。

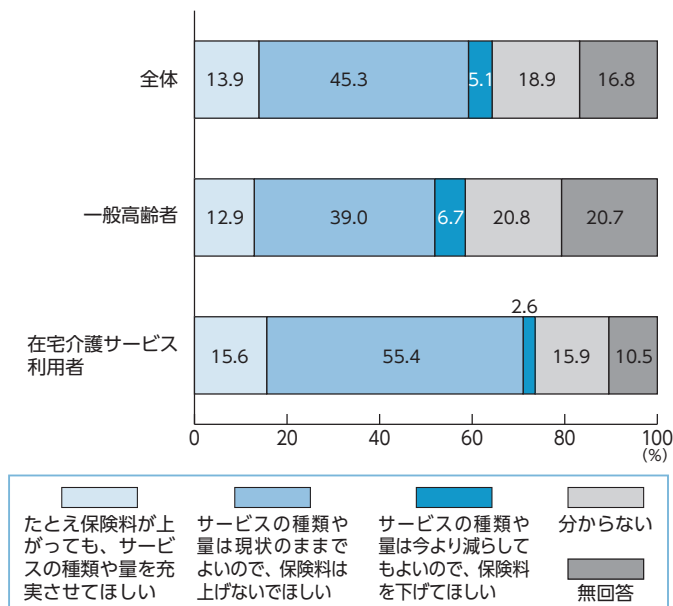
■ 全体
■ 一般高齢者
■ 在宅介護サービス利用者



問 介護保険サービスを受ける人の増加や、介護保険サービスの充実などによって、保険料の引き上げが見込まれます。このことについてどう思いますか。

(回答者：一般高齢者と在宅介護サービス利用者)

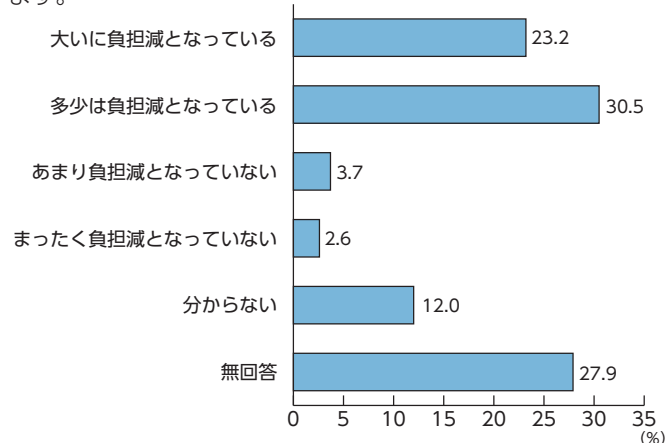
「サービスの種類や量は現状のままでよいので、保険料は上げないでほしい」と全体で4割強の人が回答しています。



問 介護保険サービスは、介護の負担を軽くしていますか。

(回答者：在宅介護サービス利用者)

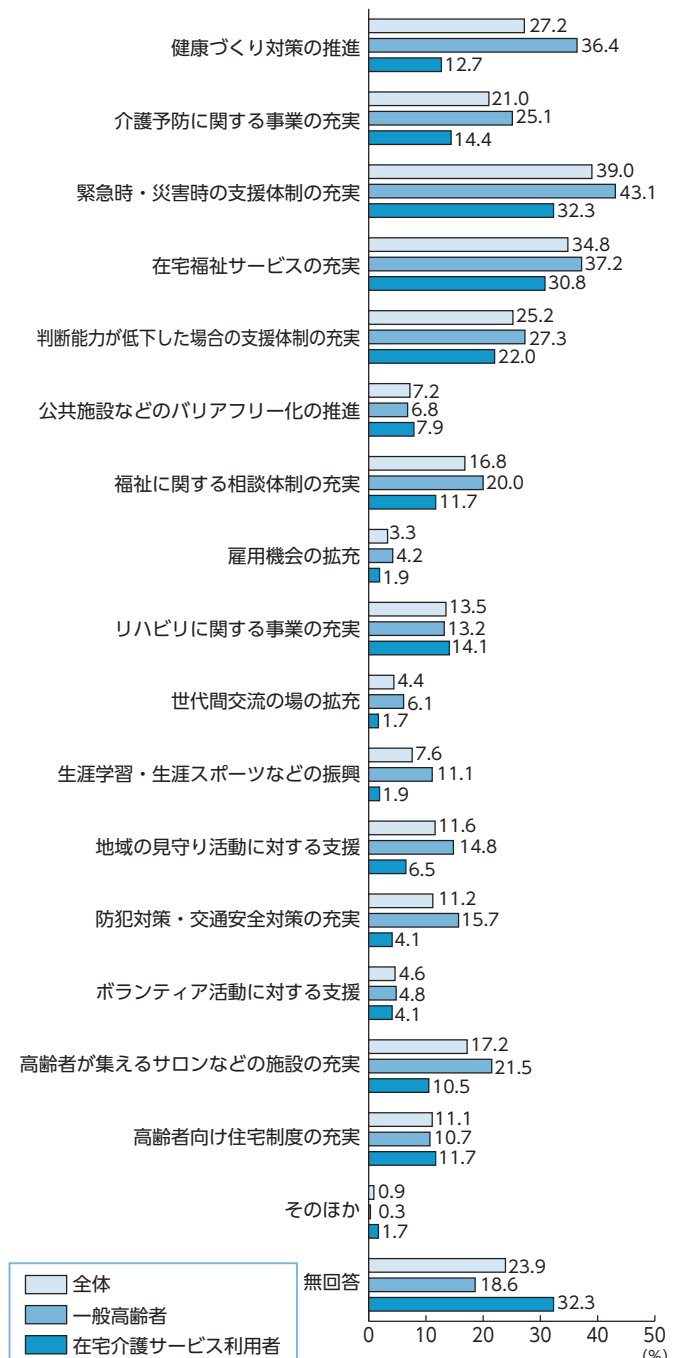
「大いに負担減となっている」と「多少は負担減となっている」を合わせると、5割の人が負担が軽くなっていると回答しています。



問 旭市の高齢者施策として特に力を入れてほしいことは何ですか(複数回答可)。

(回答者：一般高齢者と在宅介護サービス利用者)

「緊急時・災害時の支援体制の充実」が最も多く、次いで「在宅福祉サービスの充実」となっています。



計画の策定委員を公募します

旭市高齢者福祉計画・第6期介護保険事業計画を策定するため、本年度、策定委員会を設置します。委員会は、保健・医療・福祉の関係者および40歳以上の介護保険被保険者の代表者で組織します。会議は年3回程度開催し、策定に向けて協議します。

募集期間／7月1日(火)～15日(火)

資格／市内に1年以上住所がある40歳以上の人

募集人数／3人

申し込み方法／高齢者福祉課にある「委員公募申込書」に必要な事項を記入し、持参または郵送、ファクスで提出してください。

※郵送の場合は、15日(火)の消印有効。

選考方法／書類選考(場合により面接)

結果通知／郵送

申し込み・問い合わせ先

〒289-2595
旭市二の1920
高齢者福祉課介護保険班

TEL 62-5308
FAX 62-2170